



# 学校だより 1月号

～ 学び合い 認め合い 笑顔輝く 都田西っ子 ～

横浜市立都田西小学校  
学校長 大嶋 照美

【TEL 045-933-7652 FAX 045-937-0964】

【 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tsudanishi/> 】



## 一年の計は元旦にあり

校長 大嶋 照美

新年あけまして おめでとうございます  
今年もよろしく おねがいたします

平成30年がスタートいたしました。冬休みはいかがお過ごしでしたか。12月にインフルエンザでの学級閉鎖もあり、冬休みに入ってからの子どもの様子が気になっておりましたが、元気に登校してきていることに安心しました。

寒い日々が続くと思います。今年も健康のための合言葉「手洗い・うがい・早寝・早起き・朝ごはん」の励行をお願いいたします。

見守り活動をしていただきます学援隊、お散歩隊、地域の皆様、十分健康にご留意いただきますようお願いいたします。

昨年は、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。子ども達が元気に新年を迎えることができましたのは、保護者、地域の皆様のご理解と、ご支援のおかげです。今年もよろしくをお願いいたします。

1月の学校便りには、十二支のことを取り上げています。今年は「戌」です。もともとは「じゅつ」と読まれていたそうです。諸説あるとは思いますが、この「戌」という文字は、刃物で作物を刈り取り、まとめて縛る様子を表し、「戌」は結実の年と言われるそうです。

最後の「亥」は、次の新しい12年に向けて、すでに走り出している扱いで、「戌」が実質的な12年サイクルのまとめ、最終年と書かれていました。

十二支は人の栄枯盛衰、成長を表しているといわれています。学校ではこれからの3か月は、まさにまとめの日々になります。「戌」年にふさわしく、1月から3月まではまとめの月とし29年度をまとめます。そして進学・進級に向けて準備を始めます。

かねてから子ども達が見る機会があればと、思っていた「獅子舞」を佐江戸囃子連の方々のご厚意により披露していただくことができました。

1月9日の新年初めの朝会にサプライズで登場しその後全クラスを巡りました。

獅子舞は室町時代から続いているものですが、古くはインドから中国、中国から日本へと伝わってきたものです。獅子舞の意味や由来、頭を噛むのは何故なのかも子ども達に話しました。

佐江戸囃子連は、昭和29年に活動が始まり、地域に伝わる伝統芸能として引き継ぎ今に至ります。

獅子頭やお面は100年以上も使用されています。地域の行事や都筑区の行事にも参加し、披露しています。子ども達が身近で見ることができ、大変良い経験になったと思います。佐江戸地区の児童も数名所属しています。

高学年の先生方に、子ども達が持つ目標と同じように学級経営について、子ども達に対して、漢字一文字で表してもらい校長室前に掲示しています。高学年朝会で行ったのですが、低学年や発表していない先生方は、これから掲示します。文字の下に選んだ理由を書いています。じっくり理由を読んでいる児童の姿も見かけます。全校の教職員の思いを見えるようになります。私は1年生で習う「大」の文字を選びました。大規模校の都田西小学校に、大勢の児童が安心して元気に通え、健康に過ごせるように、そして大切な子ども達に、学習面・生活面、心情面で大切なこと、大事なことをしっかり身に付けてほしいと願っているからです。今年も教職員一同心新たに、子ども達が充実した日々になるように力を注いでまいります。

